

平成31年(2019年)第2週 2019年1月7日(月)～2019年1月13日(日)



熊本市 感染症発生動向調査 速報



●インフルエンザが警報レベルになりました!!●

感染症発生動向調査で、熊本市の第2週(1月7日～1月13日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、43.08人(定点数25ヶ所、患者報告数1077人)となり、国が警報レベルの目安としている30人を超えました。学校が始まり、学校や施設等での集団発生も多数報告されています。感染予防に努めましょう。

《予防のポイント》

感染経路：インフルエンザの感染経路は患者の咳などのしぶき(飛沫)を吸い込むことによる飛沫感染が主ですが、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染もあります。

①**手洗い：**インフルエンザウイルスが付いた手を流水・石鹸により洗い流しましょう。すぐ手を洗えない時には、アルコールによる手指消毒もインフルエンザには効果があります。

②**不織布マスク：**感染している人がマスクをすることで、咳やくしゃみなどのしぶきを空中へ飛ばす事が防げます。また、予防としては知らない間にインフルエンザウイルスが付いた手で、口や鼻を触ることが防げると考えられます。

③**食事の時の工夫：**学校や施設、職場で、向かいあって会話をしながら食事をする事でインフルエンザに感染することもあります。食事のときの会話は楽しいものですが、インフルエンザ流行時期、学校などでは机を向かい合わせにせず、いつもの机の向きのまま食事をするほうが、感染拡大防止になります。

④**アルコール消毒：**手から手へ、インフルエンザウイルスが運ばれる可能性があります。ドアノブや机など、人の手が触れると思われるところをアルコールで消毒しましょう。

⚠ **注意!!**アルコールなどを、スプレーするとインフルエンザウイルスまで空中に舞い上がり、アルコールやインフルエンザウイルスを吸い込んでしまう可能性がありますので、スプレー式は使わないように気を付けましょう。

期 間		2019年 1週		2019年 2週	
		12/31～1/6		1/7～1/13 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		435	17.40	1077	43.08
RSウイルス感染症		3	0.19	9	0.56
咽頭結膜熱(プール熱)		5	0.31	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	0.63	28	1.75
感染性胃腸炎		69	4.31	120	7.50
水痘(みずぼうそう)		13	0.81	12	0.75
手足口病		4	0.25	2	0.13
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	3	0.19
突発性発しん		5	0.31	4	0.25
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		2	0.13	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		7	1.40	19	3.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	1	0.20